

第50回 福岡県医師会 学校保健・学校医大会
令和7年 12月 20日 久留米医師会館

九州学校検診協議会
成長発達・小児生活習慣病部門
活動報告

成長発達・小児生活習慣病部門
山本幸代（産業医科大学）

活動報告

1. 成長曲線肥満度曲線の普及・啓発活動
成長曲線・肥満度曲線の関係様式について
2. 九州地区尿糖陽性者の精密検査集計結果
尿糖陽性を契機に新規に診断される糖尿病数

成長発達・小児生活習慣病部門：主な活動内容

1. 学校検尿尿糖陽性者 精密検査に関する協議

- 精密検査結果の解析
- 九州・沖縄地区全体として精密検査システムの構築のための協議

2. 小児生活習慣病予防健診の構築のための協議

3. 学校検診での成長曲線の活用に関する協議

九州沖縄地区で統一した様式等の作成・公開

公益財団法人
福岡県メディカルセンター

お問い合わせ

ホーム

業務概要

法人概要

アクセス

採用情報

ホーム > 業務概要 > 九州学校検診協議会 > 成長発達・小児生活習慣病等部門

成長発達・小児生活習慣病等部門

● 成長曲線肥満度曲線 ● 尿糖検診(尿糖陽性者)集計結果

九州地区の小中学校における学校検診での成長曲線の活用

平成28年4月の学校保健安全法の改正により、成長曲線・肥満度曲線を活用した発育評価が推奨されています。
判定結果を保護者に通知するための文書や医療機関での検査項目を示した文書等、検診現場で活用できる様式を作成しました。
各地域の実情に合った内容に加筆修正するなどして、ぜひご活用ください。

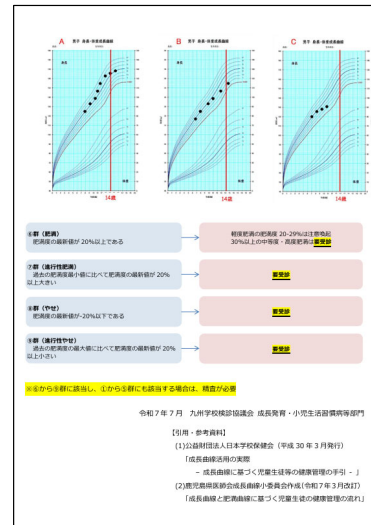
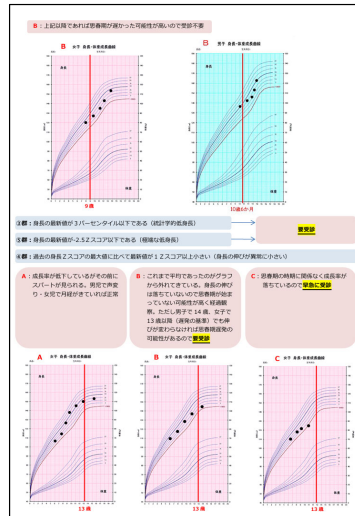
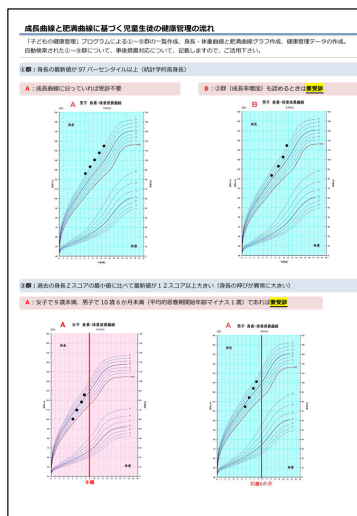
※加筆修正に伴う責任等は各施設・団体にてご負担いただくものとし、作成元では責任を負いかねますのでご了承ください※

Point

関係資料として、[健康管理の流れ\(学校関係者・学校医向け\)](#)と[事後対応の手引き\(医療機関向け\)](#)を追加掲載しました。

- 健康管理の流れ(学校関係者・学校医向け)
- 事後対応の手引き(医療機関向け)を追加掲載

健康管理の流れ(学校関係者・学校医向け)(令和7年7月作成)



子どもの健康管理プログラムにより、何らかの所見を認める1～9群に該当する児童生徒への事後措置対応を簡便にまとめています。

判定番号1～9のそれぞれに「受診不要」、「要受診」「早急に受診」の3つのパターンに分けた形式を参考までに示します。

受診先の医療機関や受診のタイミングを追記する等、各地域に合った形に改編を加えてご活用ください。

事後対応の手引き(医療機関向け)(令和7年7月作成)

肥満・痩身への対応実践ガイド
成長曲線・肥満度曲線を活用した
学校検診後の受診勧奨
および事後対応の手引き

本ガイドは、学校検診において成長曲線・肥満度曲線を活用して、肥満・痩身の程度や変化を適切に評価し、医療的対応との連携を行うため指針です。

軽度肥満で経過が安定している場合は、保護者への注意喚起を行い、家庭での生活改善に取り組むことを呼びかける、中等度から高度肥満・高度痩身や急速な体重変化がみられる児童生徒は医療機関への受診を勧奨することを基本方針としています。

令和 7 年 7 月作成
九州学校検診協議会 成長発育・小児生活習慣病等部門

- ・ 成長曲線・肥満度曲線を活用した学校検診後の受診勧奨を含む事後対応の手引きを主に診察等を担当する医療機関向けに作成しました。
- ・ 検診の流れや診察時に注目して欲しい所見、検査項目等を掲載しています。

< % : 对一次核診受診者数 >

尿糖陽性率, 学校検尿によって新規診断される糖尿病数

- ・協議会では2017年に各県医師会での集計を共通形式に変更.
- ・九州・沖縄地区全体として, 尿糖陽性率, 学校検尿によって新規診断される糖尿病数を集計し, 経年的な推移の把握

2018年から2022年までの、九州沖縄地区全体として推移を検討

尿糖陽性率の推移(2018 - 2023)

		2018	2019	2020	2021	2022	2023
小学生	総受検者数	725268	516102	598336	682148	711323	704038
	尿糖陽性数	613	343	520	513	638	463
	尿糖陽性率	0.08	0.07	0.09	0.08	0.09	0.07

		2018	2019	2020	2021	2022	2023
中学生	総受検者数	328558	246852	273751	328514	340151	341795
	尿糖陽性数	804	494	680	693	826	635
	尿糖陽性率	0.24	0.20	0.25	0.21	0.24	0.19

尿糖陽性率の推移(2018-2023)のまとめ

1. 小学生

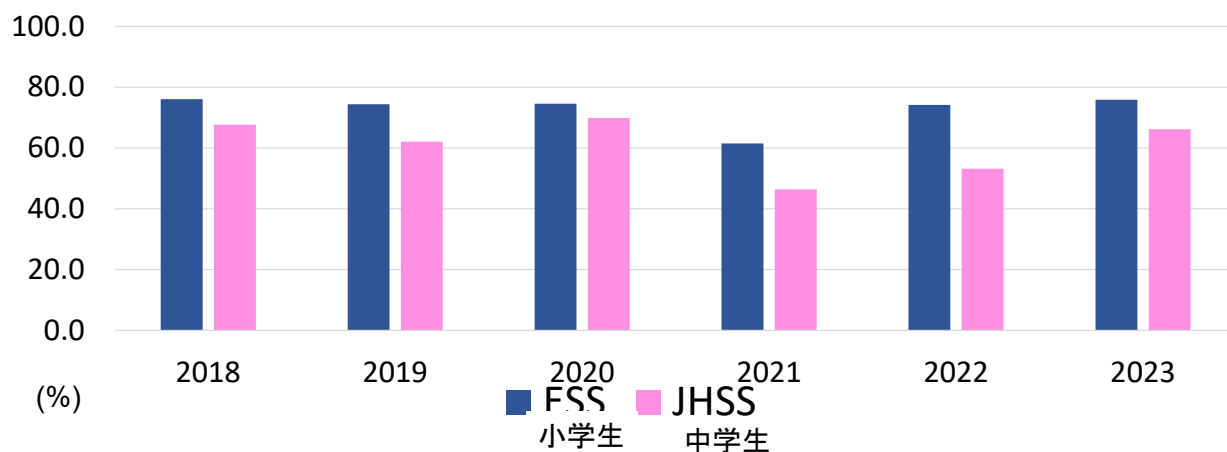
・尿糖陽性率は **0.07～0.09%** で、大きな増減はなく、ほぼ横ばいで推移。

2. 中学生

・尿糖陽性率は **0.19～0.25%** で、小学生よりも 3倍程度高い。

・年ごとの変動はあるが、全体としては大きなトレンドの変化はなくほぼ横ばいで推移。

精密検査 受診率の推移



- 小学生(76.1/74.4/74.6/61.5/74.2/75.9%)
- 中学生(67.7/62.1/69.9/46.4/53.2/66.2%)
- 小中学生ともに2021年度に精密検査受診率が低下,特に中学生での低下が顕著
- 2022,2023年度では, 受診率は改善. 中学生での受診率は低い.

学校検尿を契機に新規診断された糖尿病数

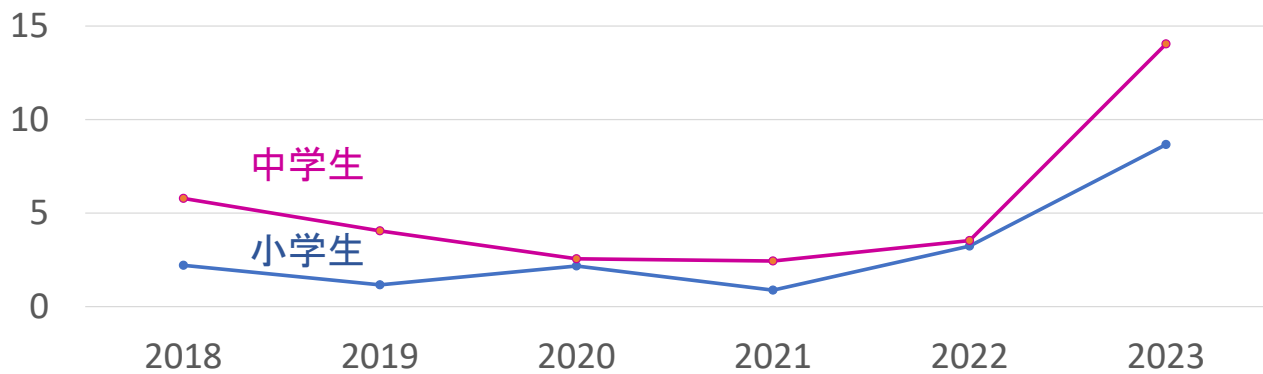
1型糖尿病

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
小学生	16	6	13	6	23	61
中学生	19	10	7	8	12	48

2型糖尿病

	2018	2019	2020	2021	2022	合計
小学生	1	2	6	6	9	8
中学生	9	10	12	9	10	30

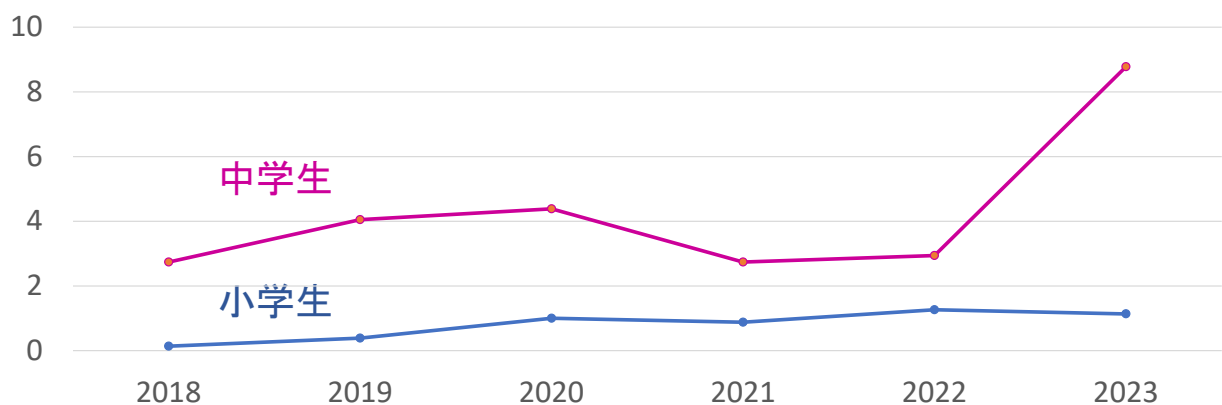
新規に診断された 1型糖尿病数 (/100,000 人)



新規に診断される1型糖尿病数 (2018/2019/2020/2021/2022/2023)

- 小学生(2.21/1.16/2.17/0.88/3.23/8.67)
- 中学生(5.78/4.05/2.56/2.44/3.53/14.0)

新規に診断された 2型糖尿病数 (/100,000 人)



新規に診断される2型糖尿病数(受検者10万人当たり)
(2018/2019/2020/2021/2022)

- 小学生(0.14/0.39/1.00/0.88/1.27/1.13)
- 中学生(2.74/4.05/4.38/2.74/2.94/8.78)

新規に診断された糖尿病の年次推移

1型糖尿病(新規診断)

小学生

- 2018～2022年は 0.9～3.2/10万人で推移し、大きな変化はない。
- **2023年に急増(8.67/10万人)。**

中学生

- 小学生より一貫して高値(2.4～5.8/10万人)。
- 2021～2022年は3.5前後で安定。
- **2023年に急増(14.0/10万人)。**

新規に診断された糖尿病の年次推移

2型糖尿病(新規診断)

小学生

- 2018～2023年は 0.1～1.3/10万人で推移。
- 小学生では大きな増加傾向はみられない。

中学生

- 小学生より圧倒的に高い(2.7～4.4/10万人)。
- 2021～2022年は2.7～2.9で安定。
- **2023年に急増(8.78/10万人)。**